

「業績検討会」の開催 ～経営計画を「絵に描いた餅」にしないために～

策定した短期経営計画(予算)について、四半期ごとに業績検討会を開催し、毎月の月次決算に基づく実績との差異を検証します。また、第3四半期業績検討会では、期末までの業績予測に基づいて、業績改善対策シミュレーションと納税予測を含めた「戦略的決算対策」をご支援します。

第1・第2四半期業績検討会

●予算実績差異分析

計画と実績を比較・検討し、現状の問題点の発見と、その対策を検討します。

最新の月次決算に基づく、変動損益計算書の確認

●総括表 平成20年12月(期首から9か月) (単位:千円)									
行	項 目	当 期	当 期 予 算	対 比	前 年 同 期	対 比	前 年 同 期	対 比	前 年 同 期
1	純 売 上 高	177,359	100.0		175,786	100.0			
2	期 首 た な 卸 高	14,563	8.2		12,627	8.2			
3	仕 入 高	69,064	38.9		73,235	33.3			
4	外 注 加 工 費	33,244	18.7		29,185	16.6			
5	他 の 変 動 費	1,515	0.9		2,314	1.3			
6	月 末 た な 卸 高 (△)	14,826	8.4		12,541	7.1			
7	共 通 原 価 配 賦								
8	変 動 費 合 計	103,560	58.4		104,039	59.2			
9	限 界 利 益	73,798	41.6		71,746	40.8			
10	人 件 費	51,818	29.2		52,092	29.6			
11	他 の 固 定 費	13,161	7.4		12,689	7.2			
12	部 門 固 定 費 計	64,980	36.6		64,761	36.5			
13	部 門 運 成 利 益	8,818	5.0		6,985	3.9			
14	設 備 費	7,831	4.4		7,639	4.3			
15	部 門 貢 献 利 益	987	0.6		-653	-0.4			
16	共 通 固 定 費 配 賦								
17	部 門 貢 献 利 益 (配 賦 後)	987	0.6		-653	-0.4			
18	た な 卸 高 増 減 (△)								
19	固 定 費 合 計	72,811	41.1		72,400	41.2			
20	経 常 利 益	987	0.6		-653	-0.4			

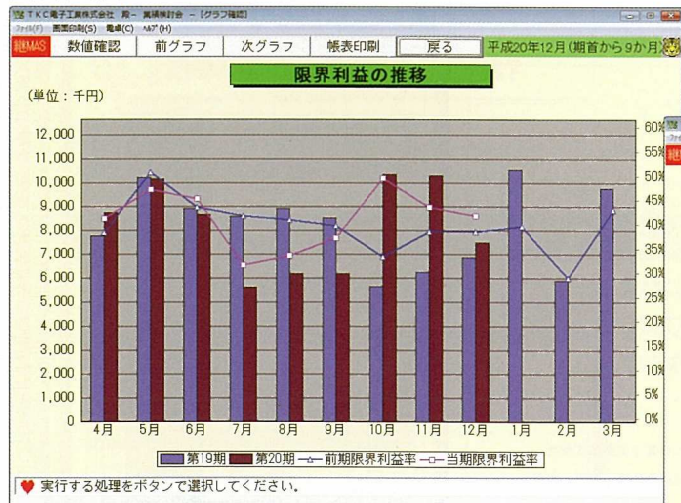
売上予算達成度グラフ



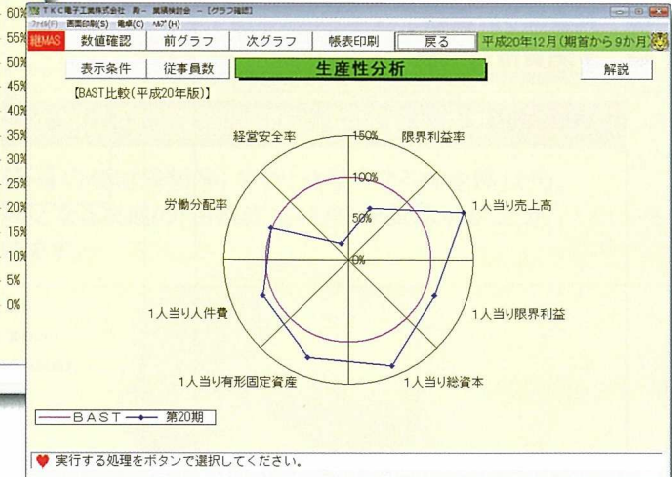
●グラフ分析による業績確認と問題点発見

29種類のグラフにより、様々な角度から業績を検証し、問題点を発見します。

限界利益推移グラフ



生産性分析(レーダーチャート)



前年比較および『TKC経営指標』(BAST)比較により、業績を確認できます。

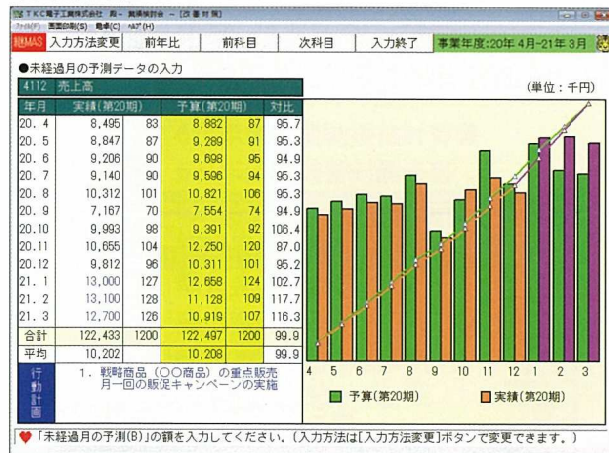
●期末業績予測(このままなら、こうなる可能性)

最新実績を基に、期末までの業績予測シミュレーションを行います。

期末業績の予測

●現状での期末業績の予測 (単位:千円)									
行	項 目	当期実績(A)	(20.4 - 20.12)	未經過月の予測(B)	(21.1 - 21.3)	当期決算の予測	(A + B)	前年比	予算比
1	純 売 上 高	177,359	100.0	59,130	100.0	236,489	100.0	96.3	100.0
2	期 首 た な 卸 高	14,563	8.2	14,826	25.1	14,563	6.2	115.3	100.0
3	仕 入 高	69,064	38.9	23,129	39.1	92,193	39.0	92.3	99.0
4	外 注 加 工 費	33,244	18.7	11,133	18.8	44,377	18.8	95.0	100.4
5	他 の 変 動 費	1,515	0.9	507	0.9	2,022	0.9	69.6	213.8
6	月 末 た な 卸 高 (△)	14,826	8.4	14,827	25.1	14,827	6.3	101.8	100.8
7	変 動 費 合 計	103,560	58.4	34,768	58.8	138,328	58.5	93.7	100.2
8	限 界 利 益	73,798	41.6	24,362	41.2	98,160	41.5	100.2	99.8
9	人 件 費	51,818	29.2	17,402	29.4	69,220	29.3	93.1	99.5
10	他 の 固 定 費	13,161	7.4	4,130	7.0	17,291	7.3	98.3	94.4
11	設 備 費	7,831	4.4	2,586	4.4	10,417	4.4	91.8	115.3
12	た な 卸 高 増 減 (△)								
13	固 定 費 合 計	72,811	41.1	24,118	40.8	96,929	41.0	93.8	100.0
14	経 常 利 益	987	0.6	244	0.4	1,231	0.5	85.0	
15	【固定費要圧縮額】	88	0.0	129	0.2	217	0.1		
16	【戦略予備費】								
17	目 標 経 常 利 益	1,078	0.6	373	0.6	1,449	0.6		100.0

業績改善対策シミュレーション



期末の経常利益の予測額が目標を下回る場合は「固定費要圧縮額」、目標を上回る場合は「戦略予備費」の欄に金額が表示されます。

【固定費要圧縮額】

目標経常利益を確保するために、圧縮しなければならない経費の額を表示します。

【戦略予備費】

期末までに、社長の意思決定により戦略的に活用できる予備費を表示します。

現状の業績予測を受けて、目標利益を達成するためにどのような打ち手があるかを検討します。

第3四半期業績検討会/決算対策

●「納税予測」と「戦略的決算対策」

節税対策・利益確保対策

●納税額確認 (単位:千円)									
節税対策					利益確保対策				
A 人件費関連の対策 -臨時・決算賞与の支給 -役員報酬の見直し -役員退職金の支払い -社員の教育研修の実施 -社内旅行の実施					G 利益確保の対策 -株式の処分 -土地の処分 -含み益ある資産の処分 -役員報酬の減額 -広告宣伝の中止 -交際費等の節減 -客貨の値下げ交渉 -保険契約の見直し -借入金の手直し -経費の先送り				
B その他固定費対策 -30万円未満の備品購入 -修繕等の前倒し実施 -広告宣伝の実施 -役員借入金利息の計上 -次期販促の前倒し実施 -短期の前払費用					F 貸倒引当金の計上				
C 減価償却資産の対策 -減価償却資産の購入 -不要な償却資産の処分					E 保険による対策 -生命保険の見直し -損害保険の見直し -窃盗防止共済の加入				
D 資産整理による対策 -不良債権の処分 -不良在庫の処分					F 貸倒引当金の計上				

決算予測と納税額の試算に基づいて、決算までに間に合う具体的な決算対策を検討できます。

黒字なら⇒節税対策

赤字なら⇒利益確保のための対策

対策を検討した結果、「いくら利益が圧縮されたか」または「いくら節税になったか」を確認できます。